

食の安全を科学の目でサポート、自前の新しい商品検査施設が完成 「コープデリ商品検査センター」を4月3日(火)に開所

コープデリ生活協同組合連合会（本部：埼玉県さいたま市、理事長：土屋敏夫、会員生協：関東信越の7生協）は、4月3日（火）に「コープデリ商品検査センター」を開所いたしました。

「コープデリ商品検査センター」は、1995年より稼働してきた旧商品検査センターの老朽化に伴い、移転・拡張した、コープデリグループ自前の商品検査施設です。生産現場から商品のお届け・販売までの「フードチェーン」全体における食の安全性確保の取り組みが機能していることを科学的な知見で客観的に把握し、データを分析して商品の品質や衛生状態の改善に役立てることを目的としています。独自の商品検査センターを持つことにより、検査期間の短縮、組合員への迅速な情報提供を可能にしています。2017年度は約3万件の検査を実施しました。

従来の検査に加え、今回新たに遺伝子検査技術を用いたノロウイルス検査法の確立や、埼玉県衛生研究所と共同でトマトに含まれるアルカロイド類の検査研究を進める予定です。

あわせて、組合員をはじめとする多くの方に食の安全について理解を深めていただくため、商品を検査している様子をガラス越しに間近にご覧いただけるようにしたり、検査センターの役割等をパネルや動画でわかりやすく紹介するコーナーを設置しました。

当連合会では、今後も組合員に安心してコープをご利用いただけるよう、提供するすべての食品の安全性確保の取り組みを進めてまいります。



外観



放射性物質検査



アレルギー物質検査

— 「コープデリ商品検査センター」概要 —

所在地：埼玉県さいたま市北区吉野町2-1417

敷地面積：3,483㎡

検査内容：微生物や食品中に残存する化学物質などの検査、食品の品質や規格成分の検査、食品の表示を確認する検査、施設衛生検査、など。2017年度は約3万件の検査を実施

専用HP：<http://kensa.coopdeli.coop/>

《コープデリ生活協同組合連合会 概要》

- 【住 所】 埼玉県さいたま市南区根岸1-4-13
- 【理 事 長】 土屋 敏夫（つちや としお）
- 【会 員 生 協】 コープみらい、いばらきコープ、とちぎコープ、コープぐんま、コープながの、コープこいがた、コープクルコ
- 【総事業高】 5,346億円（会員生協事業高計） ※2016年度
- 【組合員数】 475万人（会員生協組合員計） ※2018年3月20日現在
- 【ホームページ】 <http://www.coopnet.jp/>